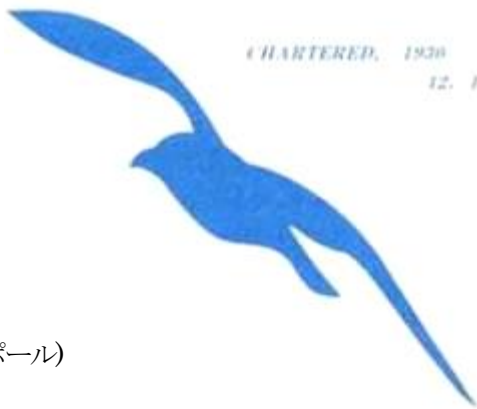




会長	齋藤 宙也	国際会長 (IP)	Edward Ong (シンガポール)	監事	松島 美一
副会長	古田 和彦	“Faith, Love, Action”	「信念、愛、行動」	ブリテン	秋元 美晴
書記	古賀 健一郎	アジア太平洋地域会長 (AP)	田上 正 (熊本むさし)	担当主事	菅原 歩
会計	大高 治	“Act now with faith and love!”			
直前会長	古田 和彦	「信念と愛を持って行動しよう！」			
		東日本区理事 (RD)	山下 真 (十勝)		
		「ワイズらしさの再発見」			
		“Rediscovering Y's Uniqueness”			
		かながわ部長 (DG)	兵藤 芳朗 (鎌倉)		
		「共に歩み 交流を深め 部の「絆」を強めよう」			
		横浜クラブ会長 (CP)	齋藤 宙也		
		「信念と愛をもって行動しよう！」			

<今月の聖句>

押川 幸男

ヤコブの家よ、主の光の中を歩もう。

(イザヤ書2章5節)

今月のひとこと

95歳、再び横浜クラブへ

～共に過ごすこれからの日々に～

加藤 利榮



久しくご無沙汰しております。皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

私は気がつけば、今や95歳の老輩です。いつの間にか、時があっという間に過ぎ去ってしまったようです。世の中

は相も変わらず賑やかなようですね。先日もMM(みなとみらい)地区の花火大会で大きな事故がありましたが、人命が損なわれなかったのはせめてもの幸いです。

花火と言えば、今から40年ほど前、私がまだ日本大通りに勤務していた頃のことを思い出します。花火大会を見るため窓際に陣取って楽しみに待っていたところ、突然の大音響とともに辺り一面が一瞬で明るくなりました。その時は本当に肝を冷やしましたが、不思議なことにけが人が出ることもなく終わりました。今回の出来事で、私にとっては二度目の経験となります。当時の日本大通りはまだ市電が走っていましたが、不幸中の幸いで大事には至りませんでした。

現在は病気もなく、平穏無事な毎日を送っております。ただ、たまに電話が鳴ってもトンチンカンな挨拶しかできず、申し訳なく感じる日々でもあります。毎月、YMCAから届く『YMCAだより』を6人ほどの方々にお配りすることが、今の唯一の楽しみです。

体調は今のところ特に問題はありません。毎朝5時半頃に起き、朝食のコーヒーやサンドイッチを美味しくいただき、日々の小さな楽しみを見つけながら過ごしております。3か月に一度のかかりつけの診察では、常備薬をいただき医師の話を聞いて帰ります。歩く際に気をつけていけば、目も耳も口も特に異常はなく、ありがたいことです。

さて、ワイズのことに触れなければなりません。横浜クラブの古田さん、古賀さんのご配慮で再び横浜クラブのメンバーとして迎えていただきました。年齢を重ねて何もお役に立てないのは心苦しく思いますが、せめて8月21日に開催される部主催の納涼例会に参加させていただくのを楽しみにしております。

かつては仲間のワイズと丁々発止とやりあったのがウソのようです。横浜クラブの皆様には今後とも隔つこでご厄介を

おかけすることになるかと思いますが、どうかよろしくお願いいたします。

ワイズでの思い出は尽きませんが、最近はその記憶を文章にまとめるのに少し時間がかかるようになりました。これも年齢のせいでしょうか。昔を懐かしみつつ、皆様のお尻に付いていくのが精一杯の私ですが、何卒よろしくお願いいたします。

(ご参考)
《加藤利榮ワイズの経歴》
1930年生まれ
早稲田大学を卒業して横浜地方検察庁勤務
1959年横浜クラブに入会
1991年日本区理事に就任
1994年湘南とつか YMCA 開設に際し横浜とつかクラブを新設し新クラブに移籍。
2025年横浜クラブの功労会員として、横浜クラブに再入会。
今年7月、95歳の加藤利榮ワイズが横浜クラブの功労会員として再入会されました。

＜2025年7月例会実績＞

在籍者	出席者	出席率	B F
11名	メン 7名 メネット 0名 コメント 0名 ビジター 1名 ゲスト 0名 合計 8名	73% (メーキャップ 1名を含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円

＜8月の行事予定＞

戦略・2032

日	曜	時間	行 事 内 容	場所
1-3	金 日		アジア太平洋地域大会	熊本
1-3	金 日		エイズ文化フォーラム	神奈川県民ホール
21	木	18:00	横浜クラブ8月第一例会兼納涼例会	ロイヤルホールヨコハマ

第一例会報告

秋元 美晴

日 時 : 7月10日(木) 18:30~20:30
場 所 : 横浜中央YMCA
出席者 : 大高、古賀、齋藤、佐竹、菅原、古田、秋元
ビジター: 兵藤部長(鎌倉クラブ)

7月例会は、2024-2025年度総会及び2025-2026年度のキックオフミーティング。

- 1. 齋藤会長の開会点鐘および挨拶
- 2. ワイズソング、ワイズ信条唱和
- 3. 今月の聖句と祈祷: 佐竹ワイズによる「今月の聖句」(ヨブ記2章10節 『日本聖書協会文語訳』)の朗読とお祈り。
- 4. ゲストの紹介: 齋藤会長より公式訪問のため出席の兵藤部長の紹介。【部長公式訪問】のため、兵藤部長から、2025-26年度の部長として、活動方針、事業計画(9月に開催されるYVLEは部を挙げて取り組んでいきたいなど)とクラブへのお願い、ワイズ・YMCAへのかかわりなどに関して、ご自身の経験も含めてご挨拶があった。
- 5. 【総会】
定足数(定数: 11名 会場7名、委任状2名: 押川ワイズ、田口ワイズで出席9名、定足数8名以上)が確認され、齋藤議長のもと総会に入る。
議案の審議

- ・第1号議案 2024-25年度事業結果報告(資料1~4)・・・古田ワイズより報告
事業報告(資料1)、会員異動(資料2)、例会出席(資料3)、評価(資料4: 活動方針 活動実績評価)
- ・第2号議案 2024-25年度事業委員報告・・・各事業委員の口頭報告。2025年9月のYVLFは、横浜YMCAが主管なので、城田さんを偲びつつ、充実したものにしたいという意見が古賀ワイズからあった。
- ・第3号議案 2024-25年度会計報告(資料5)・・・大高ワイズより報告があり、松島ワイズの病欠のため代理の古田会長が監査を行った。
第1号議案から第3号議案までそれぞれ承認された。

- ・第4号議案 2025-26年度クラブ役員、事業委員の確認された。(資料6)
- ・第5号議案 2025-26年度運営方針と事業計画(資料7、8)について齋藤会長より次のように提案された。
クラブ主題「信念と愛を持って行動しよう!」
基本方針: 今年度の国際のテーマは、「信念、愛、行動」とのことであり、今年のクラブ主題も、アジア太平洋地域のテーマを援用させていただきます。会長が変わりましたが、依然として実働可能なメンバーは限られており、できることも限られています。昨今、他クラブと合同した例会その他の活動の活発化に活路を見いだそうという流れが起きています。また、オンライン参加により、例会場まで足を運ぶのが難しい中でも卓話を聞くなど、部分的でも参加しやすい環境ができてきました。新しい流れを利用して、少しでも多くの会員やビジターの参加を促し、ひいてはワイズの活性化につなげていきたいと考えています。信念と愛を持って行動すれば、道が開けると信じて…。
- ・第6号議案 2025-26年度 横浜クラブ予算案(資料9)・・・大高ワイズより提案があった。
各議案は、挙手により賛否を確認し、すべての議案が承認された。
- 7. キックオフ例会
・ビジネス・報告

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

- (1) 第12回横浜 YMCA 専門学校日本語スピーチコンテスト
 - ・日時：7月18日（金）13：00-15：00
 - ・場所：厚木市文化会館 小ホール 厚木市恩名 1-9-20
 - ・会長挨拶（齋藤会長メッセージ）、
 - ・審査員（兵藤部長）秋元ワイズは審査委員長
 - ・参加者：大高、古賀、佐竹、古田、秋元
 - ・懇親会：コンテスト終了後 於：YMCA 健康福祉専門学校
司会は古賀ワイズ
 - ・評価会：別日にオンライン等を使用して、実施予定
- (2) 8月納涼例会について
 - ・日時：8/21（木）18：00～20：00
 - ・場所：ロイヤルホールヨコハマ
 - ・費用：7000 円
 - ・部共催行事として行う予定。
 - ・参加者：横浜クラブ（予定）：押川、加藤、秋元、大高、古賀、齋藤、佐竹、菅原、田口、古田メン・メネ他クラブ（確定）：兵藤、板崎、
 - ・ゲスト（確定）：渕、ヘルマンハーブ 4～5 名、
 - ・横浜クラブの出し物：名刺ビンゴ（ビンゴカード：菅原白紙の名刺（200 枚位）：秋元）、賞品：クオカード（10 名分）大高ワイズが担当
- (3) 9月第一例会
9/11（木）卓話を予定→加藤利榮さん（8/21 までに返事をいただく）
- (4) ブリテン8月号編集計画の確認（別添資料）
- (5) その他
 - ・新年度になりました。会費を大高ワイズまで。
8. 閉会点鐘：齋藤会長

『第12回横浜 YMCA 専門学校日本語スピーチコンテスト報告』

古賀 健一郎

2025年7月18日（金）、「第12回横浜 YMCA 専門学校日本語スピーチコンテスト」が厚木市文化会館小ホールにて開催されました。本コンテストは横浜 YMCA カレッジグループ主催、横浜ワイズメンズクラブと厚木ワイズメンズクラブの共催によるもので、10名の留学生が日頃の学習成果を披露しました。

開会に際して、厚木ワイズメンズクラブの佐藤節子会長より、「梅雨明けが発表された暑い中での開催となりましたが、出場者のスピーチ題名を拝見してユーモアや真理、アジア的視点など、多様な内容が予想され、私たちも楽しみにしてきました。留学生の皆さんの日頃の努力と練習の成果が本日発揮されることを期待しています」と温かい挨拶がありました。

続いて横浜 YMCA の佐竹博総主事は、「横浜 YMCA は平和で公正な社会実現を目指し、『異文化理解』『共生社会』『命の尊さ』を掲げています。専門学校ではこれらを実践的に学び、留学生同士が仲間として助け合い、平和な関係を築いています。本日のスピーチを通じて、日頃の生活や学びから感じたことを共有し、新たな目標を見つけていただければ」と

激励の言葉を述べました。

審査員として、横浜ワイズメンズクラブかながわ部の兵藤芳朗部長、厚木ワイズメンズクラブの佐藤節子会長、神奈川県青年国際交流機構の狐崎美恵子様、YCJ サポーターの田中和生様、秋元美晴恵泉女学園大学名誉教授の5名が紹介されました。

【スピーチコンテスト講評（秋元恵泉女学園大学名誉教授が審査員を代表して）】

各スピーチの内容や特徴について講評し、特に異文化から見た日本についての多様な視点が印象的だったと述べられました。ユーモアにあふれたテーマから心に深く響くテーマまで多彩なスピーチがあり、日本のトイレ文化、女性専用車両、ミャンマーからの参加者による家族への深い愛情を表現したスピーチなどが特に印象深かったと評価されました。さらに、YMCA の日本語教師たちの教育方針と指導力を称え、多くの留学生が「日本人は優しい」と感じるのは、教師たちの国際理解教育によるものだと述べました。

【東京から参加された為我井輝忠ワイズの感想 於：懇談会】

東京 YMCA と東京多摩スマイルクラブに所属する為我井輝忠ワイズは、最近ネパールに3週間滞在し、小学校で英語や日本の折り紙を教える貴重な体験をされました。今回のスピーチコンテストでは、短期間で日本語を習得した留学生たちの語学力に感銘を受け、「参加者の皆さんが日本での生活を充実させ、将来のキャリアや母国での活躍につなげてほしい」と激励の言葉を述べられました。

【閉会挨拶】

閉会の挨拶は横浜クラブ齋藤宙也会長の予定でしたが、都合により欠席されたため、古田直前会長が代読しました。

「本コンテストは優劣を競うだけでなく、互いに刺激し合い、日本と世界の架け橋となる重要な機会です。参加者の皆さんには今後も多くを学び、夢に向かって前進してほしい」とのメッセージが伝えられました。

日本語スピーチコンテストは留学生の国際理解を促進し、日本での生活体験や学習成果を共有する貴重な場となっています。主催・共催団体、協賛企業、関係者の皆様のご協力のもと、今年も意義深いイベントとなりました。

【追記：心に響いたスピーチ紹介】

今回のコンテストで私が特に心を動かされたのは、ミャンマー出身のエー・サンダート・トウンさんのスピーチ「心の中で生きているお父さん」です。トウンさんは父親が家族のために懸命に働き、深い愛情を注いでくれていたことに、生前は気づけなかったと語りました。そして5年前に父を亡くして初めてその想いに気づき、伝えられなかった後悔を抱き続けていました。父がよく言っていた「新しいことを学び、人生の課題に立ち向かいなさい」という言葉を胸に刻みながら、日本で挑戦を続けています。このスピーチコンテストという場で、トウンさんは父への尽きることのない愛情と感謝を涙ながらに語り、会場全体が深い感動に包まれました。コンテストの結果よりも、心の底にある素直な気持ちを皆の前で勇気を持って伝えたその姿に、きっと天国のお父さんも喜ばれたことだろうと私は強く感じました。



2025-2026 年度 かながわ部第 1 回評議会報告

古田 和彦

日時 2025 年 7 月 19 日 (土) 15 : 00 ~ 17 : 05

会場 横浜中央 YMCA 6 階 606 号室

出席者 会場 : 11 名、オンライン : 3 名、委任状 : 12 名

うち、横浜クラブ 会場 : 2 名 (古賀、古田) オンライン :

1 名 (齋藤)、委任状 : 1 名 (大高)

板崎淑子部書記の司会で定刻に開始。

兵藤芳朗部長の開会点鐘、一同でワイズソングを歌い、ワイズの信条を唱和、森山真治担当主事がテサロニケの信徒への手紙Ⅱ第 2 章 17 節 (横浜 YMCA 2025 年度基本聖句を朗読し、開会祈祷を行った。

兵藤部長の挨拶ののち、上記の出席状況が報告され、この評議会は成立した。

議事

議長 兵藤芳朗部長

第 1 号議案 2024-25 年度事業報告

久保勝昭直前部長より別紙提案書に基づき報告があった。満場一致で承認された。

第 2 号議案 2024-25 年度決算報告・会計監査報告

久保勝昭直前部長の指名により千葉裕子 2024-25 年度会計より別紙資料に基づき報告があった。その後、久保直前部長より別紙「監査報告書」に基づき、監査報告が報告された。

協議の結果、決算案の「案」を削除、2024-25 年度実績の予備費 319 円を雑損に振り替え、雑損を 649 円、予備費 0 円に訂正したうえで、承認された。

第 3 号議案 2025-26 年度部大会について

兵藤芳朗部長より別紙提案書に基づいて説明があった。協議の結果、開始は 15 時とし終了時間はもう少し余裕をもつこととし、賛成多数で承認された。

第 4 号議案 2025-26 年度予算案について

兵藤部長の指名により古田会計より別紙提案書に基づいて説明があった。収入については、東日本区補助金はなくなる。部行事については、参加費で償うこととする。予算案で、2024-25 年度実績の予備費は 0 に、雑損を 649 円に訂正する。

協議の結果、満場一致で承認された。

報告・連絡

1) 部長報告

兵藤芳朗部長より「第 1 回東日本区役員会」「インターナショナルチャリティラン」について報告があった。YVLF の各クラブ負担金については、昨年度までは 2 万円であったが、今年度より会員数×1500 円に変更することとなった。

2) 事業主査報告

○地域奉仕・Y サ 若木主査より報告。各クラブ担当者間の交通整理をしていきたいと考えている。

○会員増強 小松主査より報告。7 月 1 日付けで大和に 1 名入会があった。年に何回か各クラブの担当者が集まって話ができないかと考えている。YMCA のことを知っている人が少ないので、知名度を上げていくことを考えている。

○国際・交流 今城主査より、部長方針に沿って進めていく。各クラブ間で献金額に差があるので、使途先や成果についてわかりやすく伝え理解をいただくとに努めていきたい。IBC、DBC を促進し、より多くの仲間との交流が広がることを進めていきたい。

○ユース 古賀主査より報告。YVLF が 9 月 5 日 (金) ~ 7 日 (日) 富士山 YMCA で開催される。貸し切りバスはユースを優先させるので、ワイズメンバーは各自で乗りあう等をして参加してほしい。テーマは「環境」である。

3) 各クラブ会長報告

○横浜 加藤利栄さんが功労会員として入会。7 月 18 日にスピーチコンテストが終了、みなさんの参加に感謝。8 月 21 日の納涼会は 8 月 10 日までに申し込みをお願いしたい。

○鎌倉 11 月に鎌倉歴史散歩、2 月にヘルマンハーブコンサート、4 月に JAL 整備工場見学を予定している。

○厚木 これから年間計画を協議する。

○金沢八景 8 月 23 日 (土) の総会に部長訪問を予定している。

○横浜つづき You&I コンサートが 11 月 1 日 (土) センター北駅近くのボッシュホールで行われる。また、2026 年 5 月に設立 20 周年を迎えるので記念例会を予定している。

○横浜つるみ 7 月 10 日にキックオフ例会・総会を実施。北・鶴見中央・東本郷で実施している歌のひろばを中心に活動していく。昨年度は 2 名の新入会があった。

○大和 音楽を通して学校に行けない子どもたちのための居場所作りを目標に活動している。7 月に福島さんが入会した。8 月から大和 YMCA グループホームの方々を対象に歌声ひろばを実施する。今後は 1 階ホールで子ども向けの英語でミュージカルを行う教室も計画している。地元に新しくできたライオンズクラブともコラボしていく予定。

部則細則 4. かながわ部会員増強支援 (4) 既存クラブへの新入会員に対する入会金については、半額 (3,000 円/人) を部が支給する。ということではないかと質問があり、その通りと返答があった。

4) YMCA 報告 (森山真治部担当主事)

- ①第 37 回東日本区ユースボランティアリーダーズフォーラムが富士山 YMCA で行われるが、6 名の募集に対して、7 名の申し込みがある。今後希望者全員が参加できるように調整していく。
- ②AIDS 文化フォーラムが 8 月 1 日 (土) ~3 日 (日) で行われる。ぜひ参加してほしい。
- ③チャリティーラン T シャツの申し込み受付をしている各担当主事より案内をするので、購入に協力してほしい。

鈴木茂監事から、監事講評があり、兵藤部長が閉会点鐘して終了した。

なお、有志により、並木ユース事業主任を交え、久保部長の慰労会を中華街「心龍」で行った。

近況報告

—新しい選択肢—

伊藤 誠彦



4 年前の 10 月、悪性胸膜中皮腫 (癌の一種) の診断を受けた。何も治療しなければ余命は数週間から 1 年、ということであった。以来、「がん免疫療法」という治療を受け、今では、4 週間に 1 回通院し、オブジーボと呼ばれる薬の点滴を受けている。

オブジーボは京都大学の本庶佑教授が開発された新たな癌治療薬で、「新しい癌治療方法を発見した」功績により、2018 年ノーベル医学・生理学賞を受賞されている。

以来、入退院を繰り返す都度、体力が衰え、下腿に力が入らなくて外出するときには杖が手放せない、食欲が以前ほどはなくなって体重が著しく減った、服用している薬の副作用と思われるものがあるなど、不都合も多々あるものの、日常生活に大きな支障をきたすほどのものではない。

現在では介護保険の要介護 1 の認定を受け、ケアマネージャの指導の下、毎週 1 回 3 時間のリハビリテーションを受けている。

現時点の医療は、長生きそのものが目的であり、それ以上でも、それ以下でもない。

家内をはじめ、周りの人々の善意に支えられ、なんとか生かされているというのが現状である。

問題は、治療の高度化とともに医療費が高騰していることである。オブジーボの点滴には一回 80 万円の医療費がかかる。我が国の医療制度は患者に優しい形で構築されているため医療費の患者負担は年齢・所得に応じて医療費の 1 割~3 割である。更に、高額医療制度が整備され自己負担額の月額支払限度額が設定されている。

80 万円の医療費の場合、自己負担割合 3 割、月額支払限度額が 9 万円とすると自己負担 24 万円 (80 万円 X 30%) で支払限度額 9 万円を超えるため、医療費は 9 万円を限度として支払えばよいことになる。差額の 71 万円 (80 万円 - 9 万円) は公的保険財政負担となる。

高齢化、医療技術の高度化により医療費は増大傾向にあり、高額療養費で個人の負担は抑えられても、公的保険財政の圧迫要因になる。

今後の医療の新しい選択肢として、今まで通り延命だけを目的として治療を継続するか、治療を中断して死ぬことを受け入れ、これからの若い人達のために少しでも公的保険財政負担の改善に寄与すべきなのか、自死につながる判断が要求されるだけに悩ましいところである。

第二例会報告

古賀 健一郎

日時：7 月 23 日 (水) 11:30~12:30 (Zoom 開催)

出席者：秋元、大高、古賀、齋藤、菅原、古田

《今後の行事予定》

・確認した。

《協議・報告事項》

(1) 例会計画

① 納涼例会

日時：8 月 21 日 (木) 18:00~20:00

会場：ロイヤルホールヨコハマ

会費：7,000 円

部共催行事として開催することが決定した。

参加予定者：

横浜クラブ (7/23 現在)：押川、加藤、秋元、大高、古賀、齋藤、佐竹、菅原、古田 (メン・メネット)

他クラブ (7/23 現在確定)：鎌倉 2 名、つづき 1 名、大和 6 名、その他クラブは現在確認中

ゲスト：沢氏、ヘルマンハーブ演奏者 4~5 名

ビンゴ企画準備：ビンゴ用紙：菅原、名刺用紙 (200 枚)：

秋元、クオカード (500 円 X 10 枚)：大高

※会場下見を 8 月中旬に予定。

② 9 月例会

卓話担当として加藤利榮さんに依頼中。

日本語スピーチコンテストの評価会を同日開催予定。山下校長に加え、スタッフの方々にも参加を呼びかけたい。

③ 10 月例会

日本語スピーチコンテストに参加した留学生との交流を計画。

(2) ユースボランティア・リーダーズフォーラム (YVLF) への対応

・日程：9 月 5 日 (金) ~7 日 (日)

・会場：富士山 YMCA グローバル・エコ・ヴィレッジ

・テーマ：「環境」

《現地までの交通手段について》：

・横浜駅発の貸切バスはユース参加者が優先のため、ワイズ参加者 (特に地元・かながわ部) は原則現地集合。

・交通手段の不便により参加をためらう方への配慮として、グループ単位での移動手段 (自家用車の乗り合わせや、最寄駅からのタクシー相乗りなど) を検討中。

・参加希望者 (部分参加含む) は 8/11 までに申し込み下さい。

(3) ブリテン 8 月号 編集計画

9月の行事

日	曜	時間	行 事 内 容	場 所
11	木	18:30	横浜クラブ9月第一例会	中央Y
23	火・休	10:00 14:30	YMCA フェスタ	とつかY
27	土	11:30	横浜クラブ9月第二例会	Zoom

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA 菅原歩にご連絡下さい。

メール sugahara_ayumu@yokohamaymca.org
電話 045-307-7556

- ・確認済。
- (4) その他
 - ① 第二例会について：
 - ・8月は休会。
 - ・9月は、9月27日(土) 11:30、10月は、10月23日(木) 17:00に開催予定。
 - ② チャリティーランTシャツ販売案内：
 - 菅原クラブ担当主事より近日中に連絡予定。
 - ③ クラブ会費について：
 - 新年度となりましたので、クラブ会費を大高会計までお願いいたします。



担当主事 菅原 歩

先日は津波注意報・警報が発生いたしました。横浜は大きな被害はありませんでしたが、YMCA では一部プログラムを中止にしたり、おでかけしているリーダーと子どもたちには YMCA に戻るように指示を出しました。災害時の避難方法や事前の準備、イレギュラー時の対応など考えることはたくさんありました。緊急時の準備、対応について、改めて危機意識を持って取り組みたいと強く感じました。

- 7月1日～7日 安全週間
- 7月8日～14日 水泳クラス着衣泳期間
- 7月1日 常盤町清掃活動
- 7月17日 横浜 YMCA 専門学校第12回日本語スピーチコンテスト
- 7月22日 YMCA ふれあいサロン

8月納涼例会プログラム

日時：8月21日(木) 18:00～20:00

場所：ロイヤルホールヨコハマ

司会：古田ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶・・・・・・兵藤部長
2. ワイズソング・ワイズの信条・・・全員
3. 今月の聖句・・・・・・押川ワイズ
4. 食前の感謝・・・・・・同上
5. 乾杯・・・・・・加藤ワイズ
6. 食事・歓談
7. ヘルマンハーブ演奏・・・・板崎ワイズ他
8. ビンゴゲーム・・・・・・菅原ワイズ
9. 報告・連絡
10. Happy Birthday
11. 閉会点鐘・・・・・・齋藤会長

例会報告 古田ワイズ